

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月7日		記入者	瀧田 進	連絡先	754-3604
平成18年度部名	生涯学習部		課名	市立図書館	課長名	小林清志
平成19年度部名	生涯学習部		課名	市立図書館	課長名	小林 茂
事務事業名	施設運営事業					
予算上の事務事業名	施設運営経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
図書館法、著作権法、相模原市図書館条例・同条例施行規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	施設運営			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
図書館利用相談員(司書等有資格者)を設置し、図書館利用者に対する相談業務など奉仕業務全般の充実を図り、効率的な運営を図る。 貸出予約図書等の配送業務を委託し、市民の利便を図り読書環境の充実を図る。				市民(在勤・在学者、広域利用協定締結をしている市町の住民を含む)		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
図書館利用相談員の配置 14名(相武台分館分含む)						
図書資料等配送業務委託(市内各図書館、各公民館図書室等間の配送)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	40,041	40,388	46,334	52,075	52,075	
一般財源	39,834	40,151	46,024	51,799	51,799	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	207	237	310	276	276	
人件費の合計	13,537	13,507	13,507	13,507	13,507	
事業コスト合計	53,578	53,895	59,841	65,582	65,582	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	施設運営事業(図書館利用相談員)			対象名称 と単位	図書館利用相談員 (人)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	32,922	33,506	39,151	39,354	39,354	
対 象 数	12	12	14	14	14	
単位あたり経費(円)	2,743,500	2,792,167	2,796,500	2,811,000	2,811,000	
前 年 度 比		1.02	1.00	1.01	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	図書館利用相談員（人）	指標式と指標の説明	14人×12月＝168人		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	142.0	144.0	168.0		
目標	144.0	144.0	168.0	168.0	168.0
目標達成度（％）	98.6	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	職員に占める専門的職員（図書館利用相談員含む）数	指標式と指標の説明	専門的職員数/図書館職員数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	52.9	55.9	70.6		
目標	52.9	55.9	70.6	80.0	80.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
有	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		利用者のニーズに応え、施設運営の充実を図るためには、窓口業務等の管理運営一部委託を含め更なる拡充が必要である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
平成18年度から職員を減じ、図書館利用相談員を増員している。			多様化、高度化する市民の要求に的確に対応するため、図書館の管理運営を行う高度な専門知識を有する職員の育成、確保が必要である。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			